

感染防護服のデザインを更新しました

飯塚地区消防本部では、令和4年度から順次、最新鋭の感染防護服に更新します。従来のものと同様、人工血液バリア性・ウイルスバリア性ともに「クラス6」の感染防護性能を達成しているため、救急隊及び傷病者双方の感染リスクの大幅な軽減が図られており、さらなる安全な救急活動に繋がることが期待されます。また、現状の救急隊の装備につきましては、感染防護服に加え、マスク、ゴーグル、プラスチックグローブ、シューズカバー等の万全な感染防止対策を取り活動を行っています。



〈上衣〉

- ◎機能性を追求し、高い耐水性と透湿性の強化
- ◎前後に反射テープを付け、二次災害を防止
- ◎腋下ベンチレーションによる熱中症対策
- ◎反射材の位置を変更し視認性が向上、マルチポケット仕様

〈ズボン〉

- ◎ヒザ当て二重仕様による補強
- ◎裾調整ボタンにより、裾部分の劣化を防止

順次、職員へ貸与していくため、当面の間、救急現場等において、新旧感染防護服の隊員が混在することとなりますのでご了承ください。